

# 秘 書 課

## 表彰関係

市の発展又は公共の福祉の増進に貢献した方、広く市民の模範となる行為をした方を伊勢市表彰条例に基づき第 15 回の表彰を次のとおり行った。

- 1 伊勢市民功労賞
  - ・ 多年市議会議員として地方自治の振興に寄与された（ 3 名）
  - ・ 多年総連合自治会役員として地域住民の福祉の増進に寄与された（ 2 名）
  - ・ 多年まちづくり協議会会長として地域住民の福祉の増進に寄与された（ 1 名）
  - ・ 多年青少年の非行防止・健全育成に尽力された（ 1 名）
  - ・ 多年学校歯科医として児童生徒の口腔衛生管理に尽力された（ 1 名）
  - ・ 多年消防団活動に献身的に尽力された（ 4 名）
  - ・ 伝統文化行事の継承事業に多額の御寄附をされた（ 1 団体）
  - ・ 命を最優先に考えるまちづくりへ多額の御寄附をされた（ 1 名）
  - ・ 公益のため多額の御寄附をされた（ 1 名）
- 2 伊勢市民文化賞
  - ・ 第 12 回全国高等学校情報処理選手権で優秀な成績を収めた（ 1 名）
  - ・ 第 12 回全国高等学校情報処理選手権で優秀な成績を収めた（ 1 団体）
- 3 伊勢市民スポーツ賞
  - ・ 第 2 回アジア・オセアニア空手道選手権大会で優秀な成績を収めた（ 1 名）
  - ・ 第 1 回アジアジュニアソフトテニス選手権大会で優秀な成績を収めた（ 1 名）
  - ・ 第 16 回全国視覚障害者卓球大会で優秀な成績を収めた（ 1 名）
- 4 表彰式
  - ・ 日時 令和 2 年 11 月 3 日（火・祝） 10 時～
  - ・ 会場 伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール

## 栄典に係る推薦事務

憲法第 7 条第 7 号に基づく栄典の授与に関する推薦事務を行い、次のとおり決定を受けた。

- ・ 旭日小綬章、従五位 元市議会議員（地方自治功労）
- ・ 旭日単光章 元町議会議員（地方自治功労）
- ・ 旭日単光章 元村議会議員（地方自治功労）
- ・ 従六位 元市議会議員（地方自治功労）
- ・ 旭日単光章 元市議会議員（地方自治功労）

## 市長会関係

全国、東海及び三重県の各市間の連絡協調を図り、市政の円滑な運営と進展に資し、地方自治の伸展と興隆繁栄に寄与するため、全国市長会、東海市長会及び三重県市長会に加盟している。

令和2年度については、全国市長会通常総会は役員のみで開催となり、東海市長会第130回通常総会は書面での表決、第131回通常総会は役員のみでWeb会議となった。また、三重県市長会は定例会議のほかWebによる臨時会議へ出席した。

### 1 全国市長会

開催年月日	会 議 名(主な議題)
2. 6. 3 (役員のみで 開催)	第90回全国市長会議通常総会 会務報告 平成30年度全国市長会決算報告について 令和2年度全国市長会予算承認について 各支部提出議案審議について 決議案審議 役員改選

### 2 東海市長会

開催年月日	会 議 名(主な議題)
2. 5. 15 (書面表決)	第130回東海市長会通常総会 令和元年度東海市長会会務報告について 令和元年度東海市長会歳入歳出決算の認定について 令和2年度東海市長会歳入歳出予算について 提出議案の審議 決議案の審議 役員改選
2. 10. 14 (役員のみで Web会議)	第131回東海市長会通常総会 提出議案の審議 決議案の審議

### 3 三重県市長会

開催年月日	会 議 名(主な議題)	開催地
2. 5. 8	三重県市長会5月定例会議 令和2年度三重県市長会役員等の選任について 東海市長会三重県市長会提出議案等について 会務報告について 三重県町村会創立100周年記念式典について	津 市

2. 8. 5	<p>三重県市長会 8月定例会議  令和元年度三重県市長会歳入歳出決算について  令和元年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出決算について  第131回東海市長会通常総会等の開催について  令和3年度に向けた三重県への要望について  第131回東海市長会通常総会要望について  各団体からの市長会への要望等について  (男女平等社会実現を求める要請書について、平和行政推進に関する要請書について、原爆死没者慰霊並びに平和祈念の黙とうの周知方について)  市長会の会務報告について</p>	津 市
2. 9. 26 (Web 会議)	<p>三重県市長会臨時会議(新型コロナウイルス感染症に係る知事とのリモート会議)  感染者の発生状況等について  その他新型コロナウイルス感染症についての意見交換</p>	-
2. 10. 30	<p>三重県市長会10月定例会議  令和3年度三重県市長会歳入歳出予算について  令和3年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出予算について  三重県市町村職員共済組合議員の選挙について  三重地方税管理回収機構等役員の選任について  市長会事務局長の選任について  各団体からの市長会への要望等について  (自治労三重県本部からの要請について)  市長会の会務報告について</p>	津 市
2. 12. 9 (Web 会議)	<p>三重県市長会臨時会議(新型コロナウイルス感染症に係る知事とのリモート会議)  感染者の発生状況等について  新型コロナウイルスワクチン接種の実施について</p>	-
3. 2. 1	<p>三重県市長会 2月定例会議  三重県軽自動車税等事務共同処理協議会業務委託契約について  令和3年度三重県市長会役員等の選任について  第132回東海市長会提出議案の取扱いについて  三重県市長会次期事務局長の選任について  新型コロナウイルス感染拡大により収益が減少している県内の飲食店に対する十分な経済対策の実施を求める緊急要望について  三重の木づかい条例(仮称)中間案について  反差別・人権研究所みえからの要請について  三重県市長会会務報告について</p>	松阪市
3. 3. 3 (Web 会議)	<p>三重県市長会臨時会議(新型コロナワクチンに係るリモート会議)  高齢者向け新型コロナワクチンの配分について  高齢者向け新型コロナワクチンの先行接種について</p>	-

# デ ジ タ ル 政 策 課

## ICT 活用推進関係

### 1 行政事務デジタル化の推進

#### ( 1 ) RPA の導入

RPA( 定型的なパソコン操作をソフトウェアで自動化する仕組み ) の活用について、職員がシナリオ作成から運用までを行い、5 課 12 業務に適用し、業務の効率化を図った。

- ・ RPA ソフトウェアライセンス購入

購入先 富士通株式会社 三重支店

購入額 957,000 円

- ・ 伊勢市 RPA 操作研修・運用支援業務委託

委託先 富士通株式会社 三重支店

委託期間 令和 2 年 9 月 15 日 ~ 令和 3 年 3 月 31 日

契約額 2,176,900 円

委託内容 RPA 操作研修及びシナリオ作成支援等

#### ( 2 ) AI-OCR の試験導入

AI-OCR ( 高精度に帳票を読み取りデータ化する技術 ) の活用について、5 課 6 帳票で試験導入して検証を行ったところ、業務の効率化が図られたことから、令和 3 年度に本格導入を行うこととした。

- ・ LGWAN-ASP 版 AI-OCR サービス利用

契約先 株式会社 NTT フィールドテクノ 東海支店

利用期間 令和 2 年 12 月 1 日 ~ 令和 3 年 3 月 31 日

契約額 440,000 円

#### ( 3 ) チャットツールの検証

庁内での連絡や自治体間での情報共有について、無償トライアルでビジネスチャットツールを利用して検証を行ったところ、業務の効率化が図られたことから、更に活用方法等の検討を行うため、令和 3 年度に試験導入を行うこととした。

#### ( 4 ) Web 会議環境の整備

新型コロナウイルス感染症対策として、Web 会議の環境整備が必要となったことから、会議用端末 29 台、大型モニター 10 台及び通信機器並びに Web 会議用アプリケーションを調達するとともに、各課の Web 会議の活用を支援した。

#### ( 5 ) テレワーク環境の整備

新型コロナウイルス感染症対策のために、市のネットワークが利用できる施設における分散勤務用として、パソコン 60 台及びプリンタ 17 台の準備と、6 施設でのネットワーク環境

整備を行った。また、分散勤務実施期間中、パソコン 83 台について分散勤務用施設での利用に対応するため、設定作業を行った。さらに、分散勤務等の体制を拡充するため、パソコン 40 台、プリンタ 20 台及びソフトウェアライセンス等を調達するとともに、市のネットワークが利用できない 7 施設について、通信回線敷設や、施設内のネットワーク利用環境の拡充を実施した。

#### (6) その他

行政事務のデジタル化を推進するため、紙資料の電子化用にスキャナー 30 台及び電子ファイルの統合用ソフトウェアライセンスを調達した。

### 2 LINE を活用した行政サービスの推進

伊勢市 LINE 公式アカウントを機能的に活用するため、チャットボットシステム及びデータベースを含むサービス利用契約を締結して、市民サービスの向上に取り組んだ。

#### ・GovTech Express サービス利用

サービス内容 LINE チャットボットシステム等のサービス利用権一式

契約先 株式会社 Bot Express

契約期間 令和 2 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日（長期継続契約）

支出金額 2,102,100 円（令和 2 年度分）

#### ・LINE 利用者数実績（令和 3 年 3 月 31 日現在） 友だち数：6,223 人

#### ・これまでの LINE を活用したサービスの展開（令和 3 年 3 月 31 日現在）

令和元年 8 月 伊勢市 LINE 公式アカウント（地方公共団体プラン適用）の取得

11 月 一時保育予約サービス、子育て情報発信の開始

令和 2 年 6 月 木造船みずき 夏休み子ども体験ツアーの申込受付実施・受信設定機能追加

7 月 ごみ案内チャットボット運用開始

令和 3 年 1 月 水道開閉栓受付開始

### 3 官民データ活用推進計画

伊勢市のデジタル化の推進及び戦略の策定に向けて、国のデジタル戦略の動向や他の自治体の取組について調査を行うとともに、市における策定の考え方、デジタル化の現状の把握と課題を整理した。

#### ・デジタル化推進支援業務委託

契約先 ITbook 株式会社

契約期間 令和 2 年 12 月 9 日～令和 3 年 3 月 31 日

契約額 1,650,000 円

### 4 ICT 活用推進ワーキング

市の事務事業における有効な ICT 活用について、ワーキンググループ（平成 30 年 11 月設置）において、スマートシティ推進に関する意見交換や先進事例の調査研究・導入検討等を行った。

#### ・構成 課長補佐及び係長級職員 9 名

- ・ 検討内容等 AI や RPA を活用した業務の効率化、Web 会議の活用、LINE 等の SNS の活用、キャッシュレス決済、ビジネスチャットの検討等

## 5 ICTの活用推進及び導入支援

ICTを活用した業務の効率化及び市民サービスの向上を実現するため、ICT活用の事例などについて情報共有を図るとともに、各課のICT活用推進を支援した。

- ・ ICT活用の事例などの情報共有

庁内におけるICT活用のきっかけとなる情報を「スマートシティ推進通信(通称:スマ通!)」として計3回発行した。

- ・ 各課のICT活用推進

Web会議の活用、LINEの活用等の各課のICT活用推進を支援した。

## 6 ICT活用推進研修

### (1) 研修会の開催

コロナ禍における自治体のデジタル活用について、情報共有するための研修会を開催した。

with コロナ時代におけるデジタル戦略

- ・ 日 時 令和2年9月9日(水)10時00分~10時45分
- ・ 参加者 市長・副市長・各部長等計20名
- ・ 講 師 伊勢市フェロー(伊勢市スマートシティ推進アドバイザー)  
グーグル合同会社 観光立国推進部長 陳内 裕樹 氏

三重県のスマート改革と自治体DX計画の方向性

- ・ 日 時 令和3年1月20日(水)14時00分~15時30分
- ・ 参加者 市長・副市長・各部長等計20名
- ・ 講 師 三重県スマート改革推進課 横山 啓 課長

### (2) Webセミナー等への出席

スマートシティ推進関連の最新の動向や、コロナ禍におけるICTを活用した地方自治体の取組事例などの調査を目的として、多くのWebセミナー等に参加した。

## 7 オープンデータの推進

「オープンデータ」とは、行政の透明性・信頼性の向上、市民と行政の協働促進及び地域経済の活性化を目的として、市が保有するデータを二次利用可能なルールのもとで公開する取組で、平成28年12月12日に『伊勢市オープンデータの推進に関する指針』を策定、平成29年3月28日に『伊勢市オープンデータライブラリ』を公開し、令和2年度はデータの充実と利活用の推進に取り組んだ。

### (1) 伊勢市オープンデータライブラリ

#### ア 新規登録データ項目 3項目

- ・ 居宅介護支援事業所/介護予防支援事業所一覧 令和3年3月公開
- ・ 地域密着型(介護予防)サービス事業所一覧 令和3年3月公開

・介護予防・生活支援サービス事業所一覧 令和3年3月公開

イ 登録データ件数 37項目 1,142件(令和3年3月31日現在)

ウ オープンデータを活用したアプリ等 新規 1件(令和3年3月31日現在 15件)  
オープンデータを活用して宇治山田商業高校等がアプリを公開した。

アプリ・サイト名	内 容	利 活 用 者	運 用 開 始
ごみ出しアプリ 5374.jp (カレンダー版)	住んでいる「地域」を選択すると、カレンダー上にその地域のごみ出し日が表示される。	宇治山田商業 高校・名古屋工 学院専門学校	令和3年3月

## (2) 宇治山田商業高校情報処理科との連携

宇治山田商業高校と連携したオープンデータ利活用の取組として、同校情報処理科3年生25名が7グループに分かれ、「ビジネス情報管理」の中で、オープンデータの活用に加え、広く自分たちで収集した情報をもとに地域活性化について学習し、農業活性化・観光誘客・防災のためのWebサイト公開、ごみ問題のWebアプリ制作、子育て支援情報の提供等に取り組んだ学習成果を市長に報告した。

・令和3年1月25日 市長への学習成果の報告会

## 情報システム関係

### 1 三重県電子自治体推進連絡協議会及び外部専門家支援事業への参加

県と市町が連携を深め、協働して情報化の推進を図ることを目的に設置されている、県電子自治体推進連絡協議会に参加し、県内の総合的な電子自治体の推進に向けて取り組んだ。

また、情報システム関連経費の適正化や調達方法の透明性・競争性を高めることを目的に、(公財)三重県市町村振興協会が実施している外部専門家による支援事業やケーススタディに参加し、情報化スキルの向上とともに市町間の情報共有を図った。

<令和2年度外部専門家支援事業ケーススタディでの支援依頼案件>

官民データ活用推進計画の策定支援

### 2 伊勢市情報化推進委員会の開催

本市における情報化施策の円滑な推進を図るため、藤本副市長を委員長とする伊勢市情報化推進委員会を設置している。

今年度は、15回の委員会を開催し、システム更新等における競争性の確保を基本に置きながら、各課業務の効率化やサービス向上、システムの安定稼働を念頭に適正な仕様内容を検討した。

### 3 システム導入・更新関連業務

#### (1) 行政情報(内部情報系)システム更新業務

行政事務の効率化や正確化等を図るため、財務会計・文書管理・人事給与・庶務事務・グループウェア等の行政情報システムを利用しているが、令和2年度から3年度にかけて利用及び保守の期限を迎えることから、令和元年度に設置したワーキンググループにおいて、仕様等を検討のうえ、令和2年7月にプロポーザルにより業者選定を行い、令和2年9月にサ

ービス利用調達契約を締結した。その後、打合せや試験運用等を実施し、令和3年2月に庶務事務、令和3年3月に人事給与の利用を開始した。今後も打合せや試験運用等を実施し、令和3年度には、財務会計、文書管理、グループウェアの利用開始を予定している。

・伊勢市行政情報（内部情報系）システムサービス利用調達

契約先 富士通株式会社 三重支店  
利用期間 令和2年9月4日～令和3年9月30日  
契約額 100,540,000円

（2）ファイル・ユーザ認証サーバ更新業務

情報セキュリティレベルの向上や事務の効率化を図るため、平成25年度にファイル・ユーザ認証サーバを導入しているが、令和2年12月末で機器の保守期限を迎えることから、システム更新業務委託を締結し、令和3年1月から新サーバの稼働を行った。

・伊勢市ファイル・ユーザ認証サーバ更新業務委託

委託先 富士通株式会社 三重支店  
委託期間 令和2年7月1日～令和2年12月31日  
契約額 28,512,000円

（3）社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）への対応業務

社会保障・税番号制度対応にあたり、令和2年6月版のデータ標準レイアウトの変更に伴う、システム改修の対応を行った。また、団体内統合利用番号連携サーバについて、機器の保守期限を迎えることから、総合住民情報システムの仮想基盤内へ新たに同環境のサーバ構築を行った。

（4）総合住民情報システムの更新検討

総合住民情報システムについては、平成30年2月から令和5年1月末までの5年間の利用契約を締結しているが、新システム更新に係る構築期間等を踏まえ、業務担当課職員で構成する検討ワーキングを設置し、各システムベンダーへの情報提供依頼（RFI）を実施した。この情報提供依頼（RFI）の結果や、国の情報システム標準化の方針を踏まえ、クラウド化した現行システムを継続利用する更新方法とすることとした。今後は、令和3年度内でのシステム更新契約締結に向けた準備を進めるとともに、将来的なシステム標準化への対応方針についても、引き続き検討を進めていく。

（5）事務用プリンタの更新

平成24年度から平成27年度にかけて導入した事務用レーザープリンタ等が保守期限を迎えることから、計77台を調達し、更新を行った。

4 セキュリティ対策事業

（1）情報システム等に関するセミナーの受講

地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が主催する、情報システム等に関するセミナーについて、情報システム担当職員を中心に計11セミナーに申込みを行い、情報システムに関する



る知識の向上を図った。

(2) eラーニング等の研修受講

総務省が主催する、情報連携の仕組みやセキュリティ対策に関する Web 形式の研修について、マイナンバー取扱事務担当者を中心に計 147 人が受講し、適切な取扱い方法等に関する知識の向上を図った。

また、地方公共団体情報システム機構 (J-LIS) が主催する、情報セキュリティに関する Web 形式の研修について、クライアント管理運営委員及びサーバ管理運営委員を中心に、計 104 人が受講し、組織におけるセキュリティ意識、個人情報保護意識の向上を図った。

5 情報システム関連の危機管理 (防災) 対策

大規模災害罹災時における業務継続に必要な各システムのデータを安全に保管するため、各システムのバックアップデータの入った磁気テープ等を、週 1 回、同時被災のない遠隔地で管理、保管するよう業務を委託した。

6 市税等各種帳票印刷及び資料情報等作成業務

市税等に関する各種帳票の用紙印刷、帳票印字、及び封入封緘等の付随作業を含めた印刷業務、並びに市税等の住民税申告書等の紙資料データを電子データ化する作業等について、関係所属分を取りまとめ、一括した業務委託により実施した。

7 全庁向けシステム等の保守

総合住民情報システム及び行政情報システム等の、庁内各課で横断的に利用するシステムやプリンタについて、その安定稼働を確保するため、保守委託契約を締結し、システムの保守管理を実施した。また、総合住民情報システム、行政情報システム及びネットワークシステムについては、保守業者との保守定例会を毎月開催するなど、システムの安定稼働に努めた。

保守委託契約した主なシステム	保守契約先	支出額
総合住民情報システム	(株)松阪電子計算センター	16,465,680 円
総合住民情報システム用ネットワーク	〃	2,719,200
行政情報システム(内部情報系) 【財務、文書、グループウェア、電子決裁、 出退勤、人事給与】	富士電機(株)三重営業所	4,494,600
ネットワーク・インターネットシステム	西日本電信電話(株)三重支店	6,890,400

8 各課業務におけるシステム運用支援等

各課におけるシステム導入や機器購入の際、情報システム担当として、全庁的なシステム運用、業務の効率化、適正な規模、将来性等の視点から、仕様書の作成支援等を 43 件実施した。また、各課主体のシステム導入や更新の際、業者選定におけるプロポーザル評価において、評価委員として、4 案件に参加し支援した。

このほか、各課が例年実施する住民宛アンケート等に伴い、指定条件による該当者抽出や関連帳票の作成等を、担当課からの依頼を受けて 7 件実施した。

# 企 画 調 整 課

## 1 第3次伊勢市総合計画の進行管理

本市のまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、その理念に基づく市政運営のあり方を示すものとして平成30年に策定した第3次伊勢市総合計画基本構想・前期基本計画の進行管理を総合計画審議会における審議を経て実施した。

### 【伊勢市総合計画審議会】

(1) 委員 15名(任期:令和元年6月20日~令和3年6月19日)

(2) 開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】 2.9.4	・進行管理について	伊勢シティプラザ2階大ホール
【第2回】 2.9.8	・進行管理について	伊勢シティプラザ2階大ホール
2.10.26	・答申	-

## 2 第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理

「第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進行管理を行うため、産官学金労言の各分野15名の関係者で構成される伊勢市まち・ひと・しごと創生会議において、取組の進捗状況の確認及び市の現状について意見交換等を実施した。

### 【伊勢市まち・ひと・しごと創生会議】

(1) 委員 15名(任期:令和2年6月28日~令和4年6月27日)

(2) 開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】 2.10.27	・正副会長の選出について ・諮問 ・第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について	伊勢市役所本館 3階委員会室
2.11.30	・答申	-

## 3 定住自立圏構想

定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圏や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の3市5町で形成する伊勢志摩定住自立圏について、圏域の関係者17名で構成される懇談会における協議等を経て、圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにする「第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」の各取組の進捗についての確認を行った。

### 【伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会】

(1) 委員 17名(任期:平成31年4月1日~令和3年3月31日)

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
2. 6.26 ～ 2. 7.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの変更(案)について</li> <li>・圏域の現状と課題について</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面審議による開催
2.12. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の進捗について</li> <li>・圏域の現状と課題(懇談)</li> </ul>	伊勢市役所本館 3階委員会室

【伊勢志摩定住自立圏推進協議会】

(1) 構成 3市5町(委員:市町の長)

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
3. 1. 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の進捗について</li> <li>・伊勢志摩定住自立圏についての情報交換</li> </ul>	度会町役場 2階大会議室

4 伊勢地区地域審議会

市町村の合併の特例に関する法律の規定に基づき、合併前の旧4市町村の協議により旧市町村の区域を単位として設置が定められた地域審議会のうち、旧伊勢市の区域に係る伊勢地区地域審議会を次のとおり開催した。令和2年度末をもってその活動が終了することから、15年間の活動の総括として、今後のまちづくり及び市政運営への意見・提案を提言としてまとめ、令和3年2月16日に提出いただいた。

【伊勢地区地域審議会】

(1) 委員 15名(任期:令和2年4月1日~令和3年3月31日)

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
2.12. 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副会長の選出</li> <li>・活動内容について</li> <li>・これまでの主要な施策及び現在の取組等について</li> <li>・提言について</li> </ul>	伊勢市役所本館 3階委員会室

5 宮川流域連携

宮川流域ルネッサンス協議会(平成12年6月9日設立:流域1市6町(伊勢市、多気町、明和町、大台町、玉城町、大紀町、度会町)、三重県、国関係機関、宮川流域案内人の会で構成)に加入し、宮川の清流と地域風土にあった環境を守り、次世代に引き継ぐことに寄与する活動に取り組んだ。

【協議会の主な活動状況】

- ・大好き！宮川流域 思いフォト募集

応募期間：令和2年8月1日～11月30日

応募作品数：233件

- ・「川と海のクリーン大作戦」(宮川河川清掃活動)

日時：令和2年10月25日

実施場所：宮川堤公園

参加者数：約80名

- ・植樹の実施

日時：令和2年12月6日

実施場所：大台町大杉地内

植樹数：地域に適した樹木14種100本

参加者数：16名

6 市長との地域懇談会

市民に市政運営に対して理解を深めていただき、また、市民の声を市政運営に反映させるため、まちづくり協議会区域ごとに懇談会を開催した。

- ・開催期間：令和2年9月14日～令和3年2月19日

- ・開催回数：23回

- ・参加者数：323人

7 行財政改革推進事業

平成30年度に策定した行財政改革プランに基づく取組項目（取組期間：平成30年度～令和3年度）の進行管理を学識経験者など6名の委員で構成する伊勢市行政改革推進委員会の協議を経て行った。

【行政改革推進委員会】

- (1) 委員 6名（任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日）

- (2) 開催状況

開催日	内 容	備 考
2. 4. 24 ～ 2. 5. 1	・行財政改革プラン取組項目の令和元年度実施結果について	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面審議による開催

8 広告事業

本市が所有する様々な資産を、民間企業の広告出稿等によって積極的に有効活用し、新たな財源の確保及び事業経費の削減などを図るため、広告掲載事業を行った。

- ・実施媒体：広報いせ、ホームページバナー、庁内案内板、広告入り窓口封筒、納税通知書用封筒、じん芥収集車（ラッピング広告）、ごみカレンダー、雑誌スポンサー、倉田山公園野球場（ベンチ上壁面・外野グラウンドフェンス）、伊勢フットボールヴィレッジ広告板

・収入金額：8,796,600 円

## 9 シティプロモーション

市民及び国内外の人々から選ばれる自治体となるべく、市の地域資源・魅力の認知度向上を目指し、シティプロモーションに係る取組を進めた。

### (1) 伊勢市情報発信番組制作・放送

三重テレビ放送株式会社に委託し、同社の制作する地上波テレビジョン放送番組「Mieライブ」内のコーナー枠「旬感 Mie」において、市の各種施策や行事など、市に関する様々な情報を放映することにより、市外在住者の観光等の誘発、市民アイデンティティの向上及びシビックプライドの醸成を図った。

いずれも夕方6時から30分程度の放送、翌朝に再放送

#### 【情報発信番組一覧】

放映日	内容
【第1回】 2. 8. 7	「伊勢市の保育」「バリアフリー観光」
【第2回】 2.11.19	「伊勢市の初参り受入施策」「伊勢市のいちご」
【第3回】 3. 3.11	「クリエイターズ・ワーケーション」「伊勢総合病院の紹介」

### (2) 移住・定住の推進

伊勢市への移住をキーワードとして、移住検討者向けに市内での暮らしの魅力を体験的に紹介する動画を制作・配信するとともに、UターンやIターンを経験した人や地元大学生の意見聴取を行いながら、「伊勢市移住・U Iターン推進に向けたPRパンフレット」デザインをリニューアルした。

### (3) 「図柄入り伊勢志摩ナンバープレート」の周知啓発

令和2年5月11日から「図柄入り伊勢志摩ナンバープレート」の交付を開始しており、圏域市町（鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・南伊勢町・明和町）で連携して広報紙への掲載や報道提供等を行うとともに、伊勢市の公用車20台に図柄入りナンバープレートを取り付け、周知啓発を図った。

## 10 共生社会ホストタウンの推進

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて国が進める「共生社会ホストタウン」制度を活用して、ラオス人民民主共和国のパラ陸上選手との交流をきっかけに共生社会実現に向けた取組を推進した。

令和3年2月26日には、共生社会ホストタウンのうち、「ユニバーサルデザインの街づくり」及び「心のバリアフリー」の取組が特に先導的・先進的と認められ、東海3県で最初となる「先導的共生社会ホストタウン」の認定を受けた。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響から東京2020パラリンピック競技大会が1年延期となったが、オンライン形式によるラオスパラ陸上選手や日本人パラリンピアンとの交流事業などを実施した。

○オンライン形式による交流授業の実施

実施日	内 容	実施校
2.12.10	「ラオスを知ろう 2020」 ラオスパラ陸上公式ユニフォームのデザインに関わった小学校児童に対し、ユニフォームを着用したラオスパラ陸上選手2名を講師に実施した。	進修小6年生 有緝小5年生 御園小6年生
3. 2.18	「パラリンピアンと学ぼう」 子ども達の多様性理解を促進させることを目的に、東京 2020 パラリンピック競技大会の陸上女子走幅跳で日本代表に内定している「前川 楓」さんを講師に実施した。	大湊小5年生 修道小4年生
3. 2.25	「ラオスを知ろう」 子ども達の国際理解・多様性理解を促進させることを目的に、ラオスパラ陸上選手と「NPO アジアの障害者活動を支援する会(ADDP)」の方を講師に実施した。	有緝小4年生 城田小4年生

11 伊勢市ふるさと応援寄附金

平成 20 年 7 月 4 日から「伊勢市ふるさと応援寄附金」制度を導入し、本年度も引き続き寄附の受入れを行った。

- ・受領件数： 6,225 件
- ・受領金額：426,786,945 円
- ・令和 2 年度末登録返礼品数：615 品
- ・受領した寄附の目的別内訳

事業区分(活用先)	件数	金額
	件	円
子どもを産み育てやすい環境づくり	1,536	78,087,000
超高齢社会への対応	371	17,445,000
地域のつながりの再生	114	9,431,000
集約型都市構造の促進と公共交通体系の整備	136	6,215,000
選ばれるまちづくり	257	16,002,000
自然災害への備え	373	19,613,000
有形・無形の歴史的・文化的遺産の継承と活用	720	33,646,000
市立伊勢総合病院の充実	252	11,851,000
育英基金	226	49,497,749
市政全般(特に指定しない)	1,587	148,448,031
新型コロナウイルス感染症対策	538	33,200,480
GCF(子どもの居場所づくりと学習サポート)	101	1,030,000
具体的に用途を指定した方	14	2,320,685
計	6,225	426,786,945

GCF(ガバメントクラウドファンディング)は、自治体が行うクラウドファンディングで、自治体の掲げる課題解決のテーマを応援するために、寄附をする仕組みである。

12 調査統計

(1) 市民アンケートの実施

市民の意識や日常生活における活動等を把握し、今後の市政に反映させるための基礎資料

を得ることを目的として、市民アンケートを実施した。令和2年度は、アンケート用紙の郵送による回答だけでなく、インターネット回答もできるようにした。

実施期間	調査対象等	調査項目	回答結果
2.11.5 ～ 2.11.30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査対象 市内にお住まいの平成17年4月1日以前にお生まれの方(令和2年度中に16歳以上となる方)</li> <li>・抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出により3,500人を抽出</li> <li>・調査方法 配布：郵送 回収：郵送またはインターネット</li> </ul>	市民自治、国際交流、男女共同参画、人権 生活の中での困りごと、児童虐待、ドメスティック・バイオレンス、里親制度、障がい者差別の解消、高齢者の福祉 運動、スポーツ ネーミングライツ制度 食品ロスとごみの分別 医療、防災、消防、救急 キャッシュレス決済、商業、消費生活 交通環境、公園、道路、中心市街地 市職員、情報端末・インターネット、広報活動 まちづくり、伊勢市の住みやすさ 取組全体について 新型コロナウイルス感染症	回答者数 1,815人  回答率 51.9%

## (2) 工業統計調査

(調査周期：毎年、ただし経済センサス-活動調査実施年の前年を除く。所管省庁：経済産業省)

我が国における工業の実態を明らかにし、その生産活動に関する基礎資料を得ることを目的として、日本標準産業分類に掲げる大分類E（製造業）に属する事業所のうち、従業員数が4人以上の事業所に対して調査を実施した。

- ・調査期日 令和2年6月1日
- ・調査対象事業所 229事業所
- ・調査員説明会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、説明資料を送付した。
- ・調査員数 24人

## (3) 国勢調査（調査周期：5年 所管省庁：総務省）

我が国の人口・世帯の実態を把握し、衆議院の小選挙区の改定や交付税の算定基準などの法定人口としての利用を始め、各種行政施策の基礎資料として整備することを目的として、市内全ての世帯に対して調査を実施した。今回の調査では、調査員が世帯に説明等をするときは、インターホン越しで行い、やむを得ず対面する場合は、一定の距離をとって必ずマスクを着用するなど、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、調査を実施した。

- ・調査期日 令和2年10月1日
- ・調査対象 伊勢市内全世帯
- ・調査員説明会 令和2年8月24日～9月10日 計41回
- ・調査員数 654人

人口速報集計（令和3年6月25日総務省公表）

総人口	男	女	世帯数
122,855 人	58,166 人	64,689 人	51,571 世帯

人口等基本集計は、令和3年11月に公表予定

（4）経済センサス 活動調査（調査周期：5年 所管省庁：総務省・経済産業省）

経済センサス 活動調査は、我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を、全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的とする。調査期日が令和3年6月1日のため、適正な実施に向け、令和2年度は諸準備を行った。

（5）三重県人口推計調査（調査周期：毎月 所管：三重県）

国勢調査による人口、男女数及び世帯数を基準に、住民基本台帳における異動を加減して、毎月の人口を推計した。

令和3年3月1日現在

総人口	男	女	世帯数
122,478 人	57,992 人	64,486 人	51,575 世帯

（6）学校基本調査（調査周期：毎年 所管省庁：文部科学省）

学校教育行政上の基礎資料を得るため、令和2年5月1日現在における、市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小・中学校等の園児・児童・生徒数、教員数等を調査した。

なお、中学校については卒業後の進路を、私立学校については学校施設等を併せて調査した。

調査対象	公私立別	園・学校数	園児・児童・生徒数	教員数	
				本務者	兼務者
幼稚園	公立	園・校 9	人 179	人 18	人 1
	私立	6	335	48	5
幼保連携型 認定こども園	公立	1	106	21	6
	私立	7	1,134	149	45
小学校	公立	23	6,020	433	82
中学校	公立	10	3,160	229	50
	私立	1	100	15	12
計		57	11,034	913	201

（7）市勢統計要覧の作成

伊勢市の自然、人口、産業、民生、建設、教育等の基本的統計データを収録した「2020年（令和2年）版市勢統計要覧」を作成した。

また、e-Stat（政府統計の総合窓口）、みえDataBox（三重県所管の統計情報）からデータを収集し、市ホームページで公開している伊勢市統計データベースを更新した。



( 8 ) 統計調査員の推薦

各種統計調査を実施するにあたり、三重県に対して調査員の推薦を行った。

- ・ 労働力調査 8 名
- ・ 毎月勤労統計調査 2 名
- ・ 国民生活基礎調査 1 名

( 9 ) 統計調査員の確保対策

国が実施する統計調査に際して、統計調査員、指導員の選任が困難になっている現状を改善するため、あらかじめ希望者を登録し、統計調査員を確保することを目的として、広報いせ、市ホームページ等で募集を行った。

- ・ 令和 2 年度新規登録者数 32 名 ( 令和 3 年 3 月 31 日現在 272 名 )

# 財 政 課

## 1 歳入歳出予算

本年度における一般会計及び各特別会計の予算額及び議決の状況は、次のとおりであった。

(単位：千円)

区 分	当初予算額 2. 3.23 議決	補 正 予 算 額		
		2. 4.27 専 決	2. 5.14 議 決	2. 5.22 議 決
一 般 会 計	54,890,870	13,005,476	934,656	19,179
特 別 会 計	国民健康保険	12,808,348		1,958
	後期高齢者医療	3,182,276		
	介護保険	14,419,571		0
	住宅新築資金等 貸付事業	3,977		
	観光交通対策	596,033		
	土地取得	1,469,332		
	計	32,479,537		1,958
合 計	87,370,407	13,005,476	936,614	19,179

補 正 予 算 額				
2. 7. 1 議 決	2. 7. 1 議 決	2. 8.11 議 決	2.10.13 議 決	2.10.13 議 決
664,394	277,915	904,682	182,866	472,271
			9,500	
			242,702	
				0
			252,202	0
664,394	277,915	904,682	435,068	472,271

区 分		補 正 予 算 額			
		2.12.23 議 決	2.12.23 議 決	2.12.23 議 決	3. 1.29 専 決
一 般 会 計		619,560	15,300	68,583	946,165
特 別 会 計	国民健康保険	26,876			
	後期高齢者医療	172			
	介護保険	4,437			
	住宅新築資金等 貸付事業				
	観光交通対策	1,147			
	土地取得				
	計	23,414			
合 計		642,974	15,300	68,583	946,165

補 正 予 算 額		継 続 費 遞 次 繰 越 額	繰 越 明 許 費 繰 越 額	事 故 繰 越 額	予 算 総 額
3. 3.19 議 決	3. 3.19 議 決				
2,032,801	308,771	436,355	1,362,400	300	73,076,942
68,654					12,915,336
33,533					3,215,637
10,224					14,647,612
638					4,615
153,163			33,054		477,071
650,981			536,612		1,354,963
711,543			569,666		32,615,234
2,744,344	308,771	436,355	1,932,066	300	105,692,176

○内の数字は、補正の回数を表す。

## 2 地方交付税

本年度における地方交付税の状況は、次のとおりであった。

- ( 1 ) 普通交付税 10,111,250 千円  
( 合併算定替 )  
・ 基準財政需要額 25,126,382 千円  
・ 基準財政収入額 15,002,296 千円  
・ 交付基準額 10,124,086 千円  
・ 調整額 12,836 千円  
・ 交付決定額 10,111,250 千円
- ( 2 ) 特別交付税 847,770 千円

### 3 市債の状況

一般会計及び住宅新築資金等貸付事業特別会計における市債の借入れの状況は、次のとおりであった。

#### (1) 年度末現在高

会 計 名	令和2年度末現在
一 般 会 計	59,303,817 千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	981
計	59,304,798

#### (2) 借入状況(一般会計)

事 業 名	借 入 額	借 入 日	借 入 先	借 利 入 率	備 考
	千円			%	
市町村合併特例事業債	16,000	3.3.25	市有物件災害共済	0.003	
	205,300	3.3.30	市町村職員共済組合	0.04	
	29,600	3.5.28	株式会社百五銀行	0.14	
	4,100	3.5.28	"	0.18	
	264,400	3.5.28	"	0.19	
	703,200	3.5.28	"	0.19	
	161,800	3.5.28	伊勢農業協同組合	0.22	
緊急防災・減災事業債	329,300	3.3.30	地方公共団体金融機構	0.4	
	2,275,400	3.5.27	"	0.5	
	17,900	3.5.28	株式会社百五銀行	0.19	
	108,100	3.5.28	伊勢農業協同組合	0.22	
	638,500	3.5.28	"	0.22	
水道事業出資債	13,200	3.3.30	地方公共団体金融機構	0.5	
	27,800	3.5.27	"	0.5	
防災・減災・国土強靱化 緊急対策事業債	40,300	3.5.26	財 務 省	0.2	
	5,500	3.5.26	"	0.3	
	44,700	3.5.28	株式会社百五銀行	0.19	
地域活性化事業債	15,900	3.5.28	"	0.18	
	9,200	3.5.28	"	0.19	
緊急自然災害防止対策事業債	114,500	3.3.30	地方公共団体金融機構	0.2	
	5,700	3.5.27	"	0.02	
	382,900	3.5.27	"	0.2	
土地改良事業債	8,300	3.3.25	財 務 省	0.2	

事業名	借入額	借入年月日	借入先	借入利率	備考
公共事業等債	千円 70,700	3.5.26	財務省	% 0.02	
	118,500	3.5.26	"	0.2	
	38,900	3.5.26	"	0.3	
漁港整備事業債	18,900	3.3.25	"	0.3	
環境保全林整備事業債	10,300	3.3.25	"	0.04	
地方道路等整備事業債	4,500	3.3.25	"	0.04	
	800	3.3.25	"	0.2	
	47,500	3.5.28	株式会社百五銀行	0.19	
公共施設適正化事業債	21,400	3.5.28	"	0.19	
道路整備事業債	12,500	3.5.28	"	0.19	
緊急浚渫推進事業債	9,400	3.5.28	"	0.18	
街路整備事業債	23,300	3.3.25	財務省	0.2	
	6,100	3.3.25	"	0.3	
公営住宅整備事業債	17,400	3.5.28	株式会社百五銀行	0.19	
防災対策事業債	2,300	3.5.27	地方公共団体金融機構	0.02	
学校教育施設等整備事業債	125,500	3.3.25	財務省	0.04	
臨時財政対策債	1,400,000	3.5.26	"	0.06	
	89,000	3.5.28	伊勢農業協同組合	0.22	
河川災害復旧事業債	52,100	3.3.25	財務省	0.04	
	14,400	3.5.26	"	0.02	
減収補てん債	72,000	3.5.26	"	0.06	
	57,000	3.5.27	地方公共団体金融機構	0.06	
計	7,634,100				

備考欄「 」: 前年度繰越事業に係る借入分

4 一般会計決算の状況

(1) 歳入歳出決算額と前年度との比較

ア 歳入

区分	令和2年度		令和元年度		比較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C)/(B)
1 市 税	千円 16,541,456	% 24.0	千円 16,816,330	% 33.3	千円 274,874	% 1.6
(1) 普通税	15,134,526	22.0	15,405,830	30.5	271,304	1.8
(2) 目的税	1,406,930	2.0	1,410,500	2.8	3,570	0.3
2 地方譲与税	356,474	0.5	346,810	0.7	9,664	2.8
3 利子割交付金	18,130	0.0	17,319	0.0	811	4.7
4 配当割交付金	84,142	0.1	88,665	0.2	4,523	5.1
5 株式等譲渡所得割交付金	91,093	0.1	48,603	0.1	42,490	87.4
6 法人事業税金交付	100,864	0.1	0	0.0	100,864	100.0
7 地方消費税交付	2,824,796	4.1	2,316,573	4.6	508,223	21.9
8 ゴルフ場利用税交付金	16,254	0.0	15,100	0.0	1,154	7.6
9 自動車取得税交付金	22	0.0	71,874	0.1	71,852	100.0
10 環境性能割交付金	39,228	0.1	17,917	0.0	21,311	118.9
11 国有提供施設等所在市町村助成交付金	87,372	0.1	89,520	0.2	2,148	2.4
12 地方特例金交付	122,106	0.2	328,584	0.6	206,478	62.8
13 地方交付税	10,959,020	15.9	10,846,757	21.4	112,263	1.0
(1) 普通交付税	10,111,250	14.7	9,928,004	19.6	183,246	1.8
(2) 特別交付税	847,770	1.2	918,753	1.8	70,983	7.7
14 交通安全対策特別交付金	14,290	0.0	12,972	0.0	1,318	10.2
15 分担金及び負担金	557,690	0.8	701,698	1.4	144,008	20.5
16 使用料及び手数料	316,308	0.5	350,563	0.7	34,255	9.8
17 国庫支出金	22,060,055	32.0	6,935,399	13.7	15,124,656	218.1
18 県支出金	3,476,755	5.1	3,220,727	6.6	156,028	4.7
19 財産収入	83,442	0.1	145,522	0.3	62,080	42.7
20 寄附金	458,787	0.7	128,356	0.3	330,431	257.4
21 繰入金	2,126,259	3.1	1,846,727	3.7	279,532	15.1
22 繰越金	354,478	0.5	447,948	0.9	93,470	20.9
23 諸収入	646,664	0.9	764,769	1.5	118,105	15.4
24 市債	7,634,100	11.1	4,916,800	9.7	2,717,300	55.3
歳入合計	68,969,785	100.0	50,575,533	100.0	18,394,252	36.4

イ 歳出（目的別）

区分	令和2年度		令和元年度		比較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C)/(B)
1 議会費	千円 302,229	% 0.4	千円 310,076	% 0.6	千円 7,847	% 2.5
2 総務費	4,161,137	6.1	4,408,457	8.8	247,320	5.6
3 民生費	33,024,776	48.5	19,401,242	38.8	13,623,534	70.2
4 衛生費	5,358,771	7.9	4,857,758	9.7	501,013	10.3
5 労働費	60,491	0.1	53,796	0.1	6,695	12.4
6 農林水産業費	960,239	1.4	987,470	2.0	27,231	2.8
7 商工費	1,688,957	2.5	447,451	0.9	1,241,506	277.5
8 観光費	717,573	1.1	754,315	1.5	36,742	4.9
9 土木費	5,710,045	8.4	5,913,429	11.8	203,384	3.4
10 消防費	2,333,939	3.4	2,125,685	4.3	208,254	9.8
11 教育費	7,776,528	11.4	4,962,949	9.9	2,813,579	56.7
12 災害復旧費	237,865	0.4	164,046	0.3	73,819	45.0
13 公債費	5,700,282	8.4	5,654,381	11.3	45,901	0.8
14 諸支出金	0	0.0	0	0.0	0	-
歳出合計	68,032,832	100.0	50,041,055	100.0	17,991,777	36.0

ウ 歳出（性質別）

年度 決算 区分	令和2年度		令和元年度		比較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C)/(B)
1 人件費	千円 9,781,309	% 14.4	千円 8,033,732	% 16.1	千円 1,747,577	% 21.8
2 物件費	6,729,361	9.9	7,673,578	15.3	944,217	12.3
3 維持補修費	365,160	0.5	340,910	0.7	24,250	7.1
4 扶助費	11,809,547	17.4	11,397,843	22.8	411,704	3.6
5 補助費等	17,396,796	25.6	3,613,203	7.2	13,783,593	381.5
6 普通建設 事業費	7,484,037	11.0	5,231,318	10.4	2,252,719	43.1
(1) 補助事業費	1,371,005	2.0	1,508,100	3.0	137,095	9.1
(2) 単独事業費	5,928,626	8.7	3,575,386	7.1	2,353,240	65.8
(3) 事業負担金	184,406	0.3	147,832	0.3	36,574	24.7
7 災害復旧 事業費	238,527	0.3	164,612	0.3	73,915	44.9
(1) 補助事業費	204,791	0.3	130,822	0.2	73,969	56.5
(2) 単独事業費	33,736	0.0	33,790	0.1	54	0.2
8 失業対策 事業費	0	0.0	0	0.0	0	-
(1) 補助事業費	0	0.0	0	0.0	0	-
(2) 単独事業費	0	0.0	0	0.0	0	-
9 貸付金	6,000	0.0	0	0.0	6,000	100.0
10 公債費	5,700,282	8.4	5,654,381	11.3	45,901	0.8
11 投資及び 出資金	41,000	0.1	206,400	0.4	165,400	80.1
12 積立金	77,743	0.1	182,812	0.4	105,069	57.5
13 繰出金	8,403,070	12.3	7,542,266	15.1	860,804	11.4
歳出合計	68,032,832	100.0	50,041,055	100.0	17,991,777	36.0



エ 一般会計決算の市民1人当たりの額

(令和3年3月31日現在人口 123,853人)

歳 入			歳 出		
区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額	区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額
市 税	千円 16,541,456	円 133,557	消 費 的 経 費	千円 46,082,173	円 372,071
地 方 譲 与 税	356,474	2,878	人 件 費	9,781,309	78,975
利 子 割 交 付 金	18,130	146	物 件 費	6,729,361	54,334
配 当 割 交 付 金	84,142	679	維 持 補 修 費	365,160	2,948
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	91,093	736	扶 助 費	11,809,547	95,351
法 人 事 業 税 交 付 金	100,864	814	補 助 費 等	17,396,796	140,463
地 方 消 費 税 交 付 金	2,824,796	22,808	投 資 的 経 費	7,722,564	62,353
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	16,254	131	普 通 建 設 事 業 費	7,484,037	60,427
自 動 車 取 得 税 交 付 金	22	0	災 害 復 旧 事 業 費	238,527	1,926
環 境 性 能 割 交 付 金	39,228	317	失 業 対 策 事 業 費	0	0
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	87,372	706	そ の 他 の 経 費	14,228,095	114,879
地 方 特 例 交 付 金	122,106	986	貸 付 金	6,000	48
地 方 交 付 税	10,959,020	88,484	公 債 費	5,700,282	46,025
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	14,290	115	投 資 及 び 出 資 金	41,000	331
分 担 金 及 び 負 担 金	557,690	4,503	積 立 金	77,743	628
使 用 料 及 び 手 数 料	316,308	2,554	繰 出 金	8,403,070	67,847
国 庫 支 出 金	22,060,055	178,115			
県 支 出 金	3,476,755	28,072			
財 産 収 入	83,442	674			
寄 附 金	458,787	3,704			
繰 入 金	2,126,259	17,168			
繰 越 金	354,478	2,862			
諸 収 入	646,664	5,221			
市 債	7,634,100	61,638			
歳 入 合 計	68,969,785	556,868	歳 出 合 計	68,032,832	549,303

## 5 基金の決算状況

条例に定める基金の設置目的に従い、基金に属する現金等の適正な管理を行った。

種 類	区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現在高
財 政 調 整 基 金	現 金	千円 11,805,473	千円 1,452,411	千円 10,353,062
減 債 基 金	現 金	1,171,657	1,719	1,173,376
ふるさと創生基金	現 金	1,485,879	43,819	1,442,060
国 際 交 流 基 金	現 金	60,000	0	60,000
庁 舎 整 備 基 金	現 金	10,632	15	10,647
職 員 退 職 手 当 基 金	現 金	445,724	655	446,379
月 僱 金 復 興 社 会 事 業 基 金	現 金	7,993	1	7,994
地 域 福 祉 基 金	現 金	359,465	33,091	326,374
災 害 援 護 基 金	現 金	107,715	159	107,874
中山間ふるさと・水と土 保 全 対 策 基 金	現 金	47,799	70	47,869
河 川 環 境 基 金	現 金	10,249	15	10,264
育 英 基 金	現 金	81,722	11,609	93,331
文 化 振 興 基 金	現 金	165,438	10,595	154,843
地 域 振 興 基 金	現 金	2,914,939	336,722	2,578,217
景 観 形 成 基 金	現 金	436,994	6,430	430,564
森 林 づ く り 基 金	現 金	11,723	4,194	15,917
民 俗 伝 統 行 事 継 承 基 金	現 金	162,481	21,469	183,950
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	現 金	11,937	9,230	21,167
計	現 金	19,297,820	1,833,932	17,463,888

# 広 報 広 聴 課

## 広報いせ発行事業

「広報いせ」を毎月1日と15日（1月・5月を除く）に発行し、市政方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。また、「広報いせ」への広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。

（広告掲載件数：219件、収入金額：3,260,000円）

発行号	頁数	発行部数	主 な 記 事
4月15日号	16	54,090	令和2年度市民ふれあいスポカルウォーク、令和2年度に行う下水道工事、住宅の耐震化を進めよう、新しい伊勢総合病院の駐車場が完成しました、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた皆様へ(Ver.1)
5月 1日号	36	54,150	特集 施政方針と当初予算、ご当地ナンバー・図柄入りナンバープレート 5月11日交付開始！、小中学校適正規模化・適正配置の進捗状況をお知らせします、副市長2人体制でまちづくりの推進を加速化・行政運営を強化します、@伊勢action～新型コロナウイルスに負けない！がんばるお店、応援します！～、みんなで取り組もう！新型コロナウイルス感染症に負けない生活、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた皆様へ(Ver.2)
6月 1日号	28	54,190	特集 大雨・台風に備えておきたい4つの防災習慣、伊勢えがおプロジェクト 笑顔の写真を大募集！、緊急対策を実施 新型コロナウイルス感染症対策、在宅支援サービス、新型コロナウイルス市からの給付金などをご案内、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた皆様へ(Ver.3)
6月15日号	12	54,170	伊勢市健康マイレージ、食中毒にご用心、男女共同参画週間、生活困窮者自立支援・生活保護制度、図柄入り伊勢志摩ナンバープレート 5月11日から交付が始まりました
7月 1日号	24	54,250	緊急特集 食・泊みらいチケット、全国一律 レジ袋の有料化がスタートします、国民健康保険・後期高齢者医療保険のお知らせ、特定健康診査を受けましょう
7月15日号	12	54,260	地域応援商品券を販売、伊勢市自主防犯団体連絡会の活動、おかげバス・おかげバスデマンドのルート・ダイヤが変わります

	頁	部	
8月 1日号	32	54,450	特集 おうちでたのしむ なつじかん、戦後75年特別企画 伊勢にも空襲があった 未来へつなぐ忘れてはいけない記憶と記録、特別弔慰金の請求手続きの再開、後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置の設置費用を補助、いせファミリー・サポート・センター、家庭と地域の力で子どもが生き生き輝く夏休みに！、8月17日は「パートナーの日」
8月15日号	12	54,270	LINEで「ごみの分別・収集方法」自動案内！、ひとり親世帯臨時特別給付金のご案内、障がい者サポート企業・団体を募集、命を守る適切な避難を、「新しい生活様式」の定着を！
9月 1日号	40	54,350	特集 伊勢えがおプロジェクト 広げよう！笑顔の輪、第2弾新型コロナウイルス感染症総合対策、保育所・幼稚園などの入園児を募集、認知症の人にやさしいまちを目指して、良好な景観づくりを進めています、9月10日は下水道の日、国勢調査を実施します、119番三者間同時通訳サービス、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた皆様へ(Ver.4)
9月15日号	16	54,300	避難所での新型コロナウイルス感染防止対策、ペットの災害への備え、安全・安心なまちづくり、障害者差別解消法、マイナンバーカードでマイナポイント
10月 1日号	28	54,450	特集 ホントノハッケン、放課後児童クラブの利用児童を募集、小学生スポーツチャレンジ!!、すぐ食べるならつれてって！キャンペーン、市内郵便局と包括的連携に関する協定を締結、空家等の適切な管理にご協力を、マイナポイントを受け取るにはマイナンバーカードが必要です、伊勢市地域応援商品券を一般販売！
10月15日号	12	54,350	食欲の秋健康の秋、みんなで防ごう！障がい者・高齢者虐待、芸協らくご伊勢おかげ寄席公演
11月 1日号	32	54,390	特集 社会全体で子どもを育む～社会的養護が果たす役割～、この冬の感染症予防 日常生活との両立を目指しましょう、市・県民税の主な税制改正、令和元年度決算に基づく健全化判断比率等を公表
11月15日号	12	54,350	食べよう！伊勢の横輪いも、新型コロナウイルス感染症と人権、「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間です、犯罪被害を考える週間、健康なんでも相談室
12月 1日号	28	54,380	特集 交通安全 事故に遭わない起こさないために、令和3年度医師奨学生・看護師奨学生を募集、12月は明るい選挙推進強調月間、市の人事行政の運営状況を公表

12月15日号	頁 20	部 54,360	中小規模店応援商品券を販売、バリアフリー観光マップの作成に取り組んでいます、乗って残そう！バス路線、年末年始の業務案内、市勢の発展に尽力された功労者を表彰
1月 1日号	32	54,420	ふね遺産認定記念特集 伊勢市の文化財 旧市川造船所資料、新年のごあいさつ、伊勢ブランド、子どもの学習支援等事業への支援金を募集、中小規模店応援商品券を抽選販売、あなたのお困りごとを聞かせてください(伊勢市生活サポートセンターあゆみ)
2月 1日号	36	54,420	特集 続けよう！始めよう！減塩生活、伊勢市おおぞら児童園が1月に開所しました、市・県民税の申告 所得税の確定申告、いせ人権映画祭
2月15日号	12	54,410	伊勢市人権講演会を開催しました、美し国三重 市町対抗駅伝の中止、大注目のスポーツ！ポッチャを紹介し、ジャンボタニシの被害の軽減対策、10秒運動で輝くあなたに！！
3月 1日号	28	54,550	皇學館大学×8市町合同企画 伊勢志摩deとこわか国体・大会事前体験レポート！、笑顔で三重とこわか国体・三重とこわか大会を応援！、新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種について皆様に知っていただきたいこと、みなと小学校開校 閉校式および開校式のご案内
3月15日号	16	54,380	もうすぐ伊勢にも桜の便りが届きます、市・県民税の申告期限の延長および所得税などの申告期限・納付期限の延長
4月 1日号	40	54,430	特集 今、わたしたちが活動を続ける理由、まとめてご紹介！補助金・支援などで暮らしをサポート、住所異動・証明書交付の手続きをお忘れなく

## ○ C A T V 広報いせ放送事業

行政情報番組 [ お知らせ番組 ( 毎週更新 ) と特集番組 ( 毎月更新 ) ] を制作し、市政に関するお知らせなどを放送した。

< 特集番組 ( 毎月 1 日更新 ) >

放送回数 1 日 8 回 ( 午前 6 時・ 8 時・ 11 時・ 午後 1 時・ 4 時・ 6 時・ 9 時・ 11 時 )

月	タイトル	内容
4	令和2年度の主な事業の紹介	令和2年度の事業についてのご案内
5	歩いて元気！いせ健幸ポイント4期生募集	「いせ健幸ポイント」の紹介と4期生の募集のご案内
6	おうちでたのしむ 読書のじかん	絵本の読み聞かせ「じごくのそうべえ」「ポケットにいるをつめこんで」

7	ストップ！！危ない道路横断 ～道路横断中の交通事故をなくそう～	安全な道路の横断方法について、役者による再現VTRも交えながらご紹介
8	伊勢市健康マイレージ事業	気軽に健康づくりに取り組むきっかけづくりとして実施する「伊勢市健康マイレージ事業」のご紹介
9	“岡っ引き やす”にまたまた来た！ ～国勢調査ノ巻～	10月1日を期日に総務省で5年に1度行われる国勢調査のご案内
10	ポッチャ対決 「はなてらすちゃん×とこまる」	2021年の全国障がい者スポーツ大会（三重とこわか大会）で初めて正式競技として伊勢市で開催される「ポッチャ」のルールをご紹介
11	支え合い、参加する「共生社会」の実現に向けて	障がい者サポーター制度、手話言語条例など共生社会の実現に向けた取り組みのご紹介
12	ふるさと未来づくり ～まちづくり協議会の取り組み～	まちづくり協議会の活動をご紹介（早修・有緝・宮山）
1	地球環境にやさしい運転 ～エコドライブのすすめ～	環境に優しく、お財布や人にも優しい運転方法「エコドライブ」をご紹介
2	“岡っ引き やす”が指南！ ～「自転車の交通ルール」ノ巻～	自転車の交通ルールや安全な利用について、岡っ引きのやすさんが教えてくれます
3	伊勢の歴史探訪 ～郷土の偉人・足代弘訓～	神宮神官であり、御師、国学者でもある伊勢の郷土の偉人「足代 弘訓(あじろ・ひろのり)」をご紹介

<お知らせ番組（毎週土曜日更新）>

放送回数 1日8回（午前7時・9時・正午・午後2時・5時・7時・10時・翌日午前0時）

月	内 容
4	お知らせ（固定資産税・都市計画税の納付、再生資源回収事業 など）
5	お知らせ（市立図書館の雑誌スポンサー募集、下水道の整備 など）
6	お知らせ（雑がみの分別、伊勢市奨学金、がん検診 など）
7	お知らせ（市職員募集、地籍調査、交通安全についてのお知らせ など）
8	お知らせ（路上喫煙禁止、福祉医療費受給資格証の更新 など）
9	お知らせ（秋の全国交通安全運動、高齢者インフルエンザ予防接種 など）
10	お知らせ（いせし健康体操、3Rの推進、全国地域安全運動 など）
11	お知らせ（差別をなくす強調月間・人権週間、糖尿病予防 など）
12	お知らせ（年未年始の交通対策、休日・夜間応急診療所 など）
1	お知らせ（不妊不育治療医療費助成事業、下水道の整備 など）
2	お知らせ（市・県民税の申告と所得税の確定申告、住所変更手続き など）
3	お知らせ（市税の口座振替、病児保育エンゼル、就学援助制度 など）

## ○ インターネット情報発信事業

<伊勢市ホームページ>

各所属からの情報を掲載するとともに、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページになるよう努めた。

・公開ページ数：5,344件（令和3年3月31日時点）

- ・閲覧開始数（セッション数）：2,767,692件（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
- ・広告件数：7事業所・70件・700,000円

< 広報いせFacebook・Twitter >

市政の情報発信補完として、平成29年1月4日から「広報いせFacebook」「広報いせTwitter」を運用している。

（令和2年4月1日～令和3年3月31日期間中の投稿・閲覧状況）

- ・広報いせFacebook：投稿数（204件）、閲覧数（113,610件）
- ・広報いせTwitter：投稿数（202件）、閲覧数（280,185件）

## ○ 市民相談の実施

毎月、市役所広報広聴課相談室等において、法律・行政・人権・登記・交通事故・公証の市民相談を実施し、相談事の解決に努めた。

また、毎月、二見生涯学習センター、小俣公民館において行政相談を実施した。

相談名	実施日	相談担当者
法律	毎週月曜日 午後1時30分～3時30分(先着8人)	弁護士 5人
行政	毎月第2火曜日 午後1時～ (二見生涯学習センター) 毎月第3火曜日 午後1時～ (広報広聴課相談室) 毎月第4火曜日 午後1時～ (小俣公民館)	行政相談委員 5人
人権	毎月第2木曜日 午後1時～	人権擁護委員 17人
登記	毎月第2火曜日 午後1時～(先着6人)	県司法書士会伊勢支部会員 12人
交通事故	毎月第3水曜日 午後1時～(先着4人)	NPO法人交通事故被害者支援センター相談員 1人
公証	毎月第1木曜日 午後1時～	公証人 1人

項目	区分						
	法律相談	行政相談	人権相談	登記相談	交通事故相談	公証相談	計
登記	30件	1件	0件	23件	0件	0件	54件
家庭	71	0	0	0	0	0	71
相続	106	0	0	16	0	9	131
金銭	87	0	0	1	0	0	88
土地	65	0	0	7	0	0	72
福祉	5	0	0	0	0	0	5
交通事故	7	0	0	0	9	0	16
その他	96	1	1	0	0	2	100
計	467	2	1	47	9	11	537

## ○ 報道機関への情報提供

報道機関との連絡を密にするため、月1回（8月を除く）市長の定例記者会見を実施した。  
また、適宜市政の情報を提供し、広報活動の充実に努めた。

## ○ 市政への提案箱（旧 市民の声）システム

市民ニーズや意見・要望等を把握し、政策立案に結びつけられるよう、市政への提案箱システムを有効活用し、ホームページからの投稿及び紙での提案箱投稿の意見を集約した。

（市政への提案箱設置場所）

本庁舎、各総合支所、各支所、いせトピア、福祉健康センター

担当部局	件数	受付方法	
		市政への提案箱(窓口)	ホームページ「市政への提案箱」
	件	件	件
総務部	22	3	19
危機管理部	23	9	14
情報戦略局	32	17	15
資産経営部	13	7	6
環境生活部	53	43	10
健康福祉部	49	23	26
産業観光部	30	8	22
国体推進局	0	0	0
都市整備部	37	18	19
検査室	0	0	0
会計課	1	1	0
二見総合支所	0	0	0
小俣総合支所	0	0	0
御園総合支所	1	1	0
上下水道部	6	3	3
教育委員会	23	6	17
議会事務局	2	1	1
選挙管理委員会事務局	0	0	0
監査委員事務局	0	0	0
農業委員会事務局	0	0	0
伊勢総合病院	3	1	2
消防本部	1	1	0
計	296	142	154
回答不要(参考意見)	36	5	31
対象外	9	9	0



# 文化政策課

## 文化振興関係

### 1 文化振興事業

#### (1) 2020 ISE COLLECTION (いせ・これくしょん) の開催

市民が文化芸術に親しむとともに、日頃の文化芸術活動の成果を発表する場として、“鑑賞・体験・披露”をキーワードに年間を通じて様々なイベント等を開催している。また、ISE COLLECTIONを通して、複数のイベントを一体的に情報発信し、より効果的に文化芸術の振興を図っている。

#### ア 伊勢市芸術祭

市民芸能祭の開催

カルチャーフェスティバルの開催

民謡踊り大会の開催

市民交流茶会の開催

以上の行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

伊勢市美術展覧会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止したが、今後の運営方法について審議するため運営委員会を開催した。

・運営委員会

#### (ア) 概要

	開催日	協議内容等
第1回運営委員会	2. 9. 8	新型コロナウイルス感染症対策について

(イ) 委員数 10人 (任期2年)

#### イ 次世代のための文化芸術推進事業

文化芸術体験講座の開催

子どもたちに芸術・文化活動の楽しさや素晴らしさを知る機会を提供することで、豊かな心と感性を育み、次世代に文化を継承するための体験講座を開催した。この講座は、市内の文化団体が各小中学校へ出向く、出前講座方式で行っている。

・開催期間 令和2年10月14日～令和3年3月5日

・講座内容 箏、ダンス、いけばな

・参加者数 2校 339人

世界に発信！伊勢市短詩型文学祭の開催

日本の伝統的な文芸の形式である短歌・俳句を用い表現することで、未来を担う子供たちが日本の伝統的な短詩型文学に触れ、同時に市の魅力を世界に発信することを目的に、

小・中学生を対象に短歌・俳句の作品募集を行い、表彰及び展示を行った。

また、最優秀作品については、海外からの観光客に伊勢の観光スポットなどを知ってもらえるように英訳したポスターを作成し、公共施設等に掲示するとともに、市ホームページ及び伊勢市観光協会ホームページに掲載し、情報発信した。

- ・ 募集期間 令和2年7月8日～8月31日
- ・ 応募作品 4,055点（短歌 1,218点、俳句 2,837点）
- ・ 応募者数 2,561人（小学生 831人、中学生 1,730人）
- ・ 表彰式 令和2年12月12日 伊勢市労働福祉会館2階大会議室
- ・ 作品展示

展示場所	展示期間
伊勢図書館 2階展示ホール	2.12. 4～12.18
小俣総合支所 1階ロビー	3. 1.13～2.12

「楽しくいせの文化と歴史を学ぼう！」（夏休み博物館イベント）の実施  
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催を中止した。

#### ピアノ出前公演と国際理解講話の開催

市内在住のプロのピアノ奏者で日本とクロアチアの架け橋としての活動もされている方を講師に迎え、児童生徒に身近で上質な文化芸術に触れる機会、国際理解を深める機会を提供することを目的に開催した。

- ・ 講師 西井 葉子 氏
- ・ 開催日 令和2年11月26日
- ・ 開催場所 進修小学校、五十鈴中学校
- ・ 参加者数 251人（進修小1～6年生：152人、五十鈴中2年生：99人）

#### ウ 文化公演事業

##### 芸協らくご・伊勢おかげ寄席の開催

平成31年1月21日に（公社）落語芸術協会と締結した「伊勢市における文化芸術鑑賞機会の拡大に関する協定書」に基づき寄席公演を開催した。

- ・ 出演者 春風亭昇太さん（18日のみ）、神田松鯉さん、三遊亭遊雀さん ほか
- ・ 開催日時 令和2年11月17日、11月18日  
開演 午後6時30分 終演 午後8時45分
- ・ 開催場所 伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール
- ・ 観覧者数 延べ429人（ ）（内訳：11月17日 192人、11月18日 237人）  
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため間隔を空けた配席とした。
- ・ 観覧料 前売2,700円 当日3,000円 2日間通し券5,000円

#### エ 連携事業

市民ふれあいスポカルウォークの開催

スポーツと文化（カルチャー）を合わせたウォーキングを開催し、地域に残る文化資産等を巡った。この事業は、スポーツ課と連携して実施している。

開催日	内容		参加者数
2. 5.10	第1回	「磯の渡しを偲ぶ」 (丁塚古墳・磯神社・磯の渡し)	中止
2. 6.14	第2回	「菖蒲を愛でる」 (賓日館・夫婦岩・蘇民の社)	中止
2. 9.27	第3回	「五十鈴川下流探訪」 (南山古墳・朝熊神社・鏡宮神社)	中止
2.11. 8	第4回	「宮川流域を望む」 (久留山威勝寺跡・小町塚経塚)	人 68
3. 3.14	第5回	「湯田郷を巡る」 (有田神社・六地蔵石幢・野田古墳)	53

(2) 全国大会等参加激励事業

文化芸術分野の全国規模以上の大会で優秀な成績を収めた者に激励金を交付した。また、庁舎に顕彰ポスターを掲出した。

大会名	交付人数	交付金額
第29回全国高等学校文化連盟将棋新人大会	人 2	円 20,000
第1回全国小学生棋童戦決勝大会	1	10,000
第46回さなる杯小学生将棋名人戦 東日本大会	1	10,000
計	4	40,000

(3) 「伊勢ぶんかネット」の配信

伊勢市を拠点に活動する文化団体をサポートするため、国や県等の公的機関による助成事業や登録団体が主催するイベント等の情報をEメールやファックスを利用して、毎月1回配信した。また、市の後援事業等の情報を市ホームページにより周知した。

- ・登録団体数 138 団体（令和3年3月31日時点）
- ・配信回数 13 回（令和3年3月31日時点）

2 全市博物館構想事業

平成20年に策定した「伊勢市全市博物館構想」は、市域を屋根のない巨大な博物館と捉えて博物館や文化資産を収蔵品とみなし、一体のものとして有効活用を図ることを目的としている。

(1) 伊勢まるごと博物館マップの作成・配布等

博物館を紹介するとともに、点在する文化資産を記したマップを作成し、各博物館や市内のホテル及び観光案内所等で配布した。また、「博物館スタンプラリー」を実施し、3か所以上の施設を巡った人には記念品を贈呈した。

(2) 情報発信

博物館13館の企画展示や催し物情報、臨時休館日や季節に応じた見どころ等を月単位でまとめ、「今月の伊勢まるごと博物館」として市ホームページで紹介した。

### 3 文化財保護事業

#### (1) 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金

伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、保存継承団体が行う後継者育成事業、備品整備事業、記録作成事業、普及宣伝事業、保存維持事業に対し補助金の交付を行った。令和2年度はコロナ禍もあり行事の中止が多かったことから、23団体中10団体へ補助金を交付した。

#### (2) 文化財保護審議会

文化財保護法の精神に則り、本市にある文化財の顕彰を図るとともに、郷土文化の育成・向上に資するため、次の活動を行った。

〔委員数〕9人（任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日）

〔概要〕

開催日	内 容	
2. 7.14	第1回	報告事項 ・文化財関係補助事業について ・文化財案内板の設置・修繕・英訳について 役員選出 協議事項 ・市文化財保護条例と市指定文化財指定の目安について ・文化財指定について
3. 1.19	第2回	報告事項 ・文化財関係補助事業について ・文化財案内板の設置・修繕・英訳について 協議事項 ・文化財指定について

#### (3) 文化財の指定等

市にとって重要な文化財を指定し、将来の文化的発展の基礎をなすものとして保護する。令和2年度は、市指定文化財の指定2件・解除1件を行い、県指定文化財1件が一部解除された。また、市が所有している旧市川造船所資料が公益社団法人 日本船舶海洋工学会からふね遺産に認定された。

種 別	名 称	所有者等	指定・解除・認定年月日
市 有形文化財 (歴史資料)	旧市川造船所資料 (船舶設計図面 911葉)	伊勢市	2. 8.24指定
市 民俗文化財 (無形)	朝熊町の河崎音頭	朝熊町河崎 音頭保存会	2. 8.24指定
市 記念物 (天然記念物)	宿り木の桜	宗教法人 神宮	3. 2.12解除
県 名勝	二見浦	伊勢市ほか	2. 8.20一部解除
ふね遺産	市川造船所造船資料	伊勢市	2.10. 9認定

(4) 文化財保存整備事業

指定文化財等の適正な保存管理を図るため、下記事業に対して補助金を交付した。

ア 国史跡離宮院跡環境整備事業

- ・名称 離宮院跡
- ・種別 国指定史跡
- ・所在地 伊勢市小俣町本町
- ・所有者(補助事業者) 官舎神社氏子総代会
- ・実施期間 令和2年4月13日～令和2年11月7日
- ・事業内容 残存する土塁など遺跡のある環境を整備した。
- ・事業費 344,189円(市補助155,000円、所有者189,189円)

イ 史 旧林崎文庫 史跡等総合活用整備事業

- ・名称 旧林崎文庫
- ・種別 国指定史跡
- ・所在地 伊勢市宇治今在家町
- ・所有者(補助事業者) 宗教法人 神宮
- ・実施期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日
- ・事業内容 土塀の修理事業を実施した。
- ・事業費 19,572,000円  
(市補助3,914,000円、国補助11,743,000円、所有者3,915,000円)

ウ 国登 麻吉旅館聚遠楼ほか2件美観向上整備事業

- ・名称 麻吉旅館聚遠楼
- ・種別 国登録有形文化財建造物
- ・所在地 伊勢市中之町
- ・所有者(補助事業者) 有限会社 麻吉
- ・実施期間 令和2年6月1日～令和3年3月31日
- ・事業内容 聚遠楼の屋根瓦には破損やずれが見られ、建物の美観が損なわれている。  
これらの修理事業を実施した。
- ・事業費 11,793,784円  
(市補助2,948,000円、国補助5,896,000円、所有者2,949,784円)

エ 市天然記念物旭町のアイナシ環境整備事業

- ・名称 旭町のアイナシ
- ・種別 市天然記念物
- ・所在地 伊勢市旭町
- ・所有者(補助事業者) 個人
- ・実施期間 令和2年12月15日～令和2年12月17日
- ・事業内容 周辺の敷地からの土砂の流出を防ぐためにブロックを積み、環境整備を実

施し、保存を図った。

・事業費 128,700円（市補助64,000円、所有者64,700円）

(5) 造船資料保存調査

所管する旧市川造船所資料の価値を明らかにして適切な保存・活用を図るため、継続的に調査を行っている。令和2年度は、主に「伊勢の造船400年史～旧市川造船所資料展」の展示内容の作成等を行った。

・調査員 2人 調査延べ日数32日

(6) 二見浦保存管理計画運営事業

平成18年7月28日に国名勝に指定された「二見浦」について、平成21年度に策定した名勝二見浦保存管理計画に基づき、適切な名勝の整備、活用及び運営を行うものである。令和元年度は、名勝指定地内における現状変更等の取扱いを調査審議するため、名勝二見浦保存管理計画運営委員会を2回開催した。

〔委員数〕5人（任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日）

〔概要〕

開催日	内容	
2.12.25	第1回	役員選出 審議事項 ・賓日館庭園木塀の現状調査及び修理検討について 報告事項 ・現状変更案件の経過について ・二見浦海岸の石灯籠（常夜灯）撤去について
3.2.12	第2回	審議事項 ・賓日館庭園木塀の修理設計について

(7) 旧豊宮崎文庫整備活用事業

大正12年3月7日に国史跡に指定された「旧豊宮崎文庫」について、桜の時期に合わせ令和3年3月25日から4月4日に一般公開を実施した。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
岡本3丁目地内	(注) 旧豊宮崎文庫公有地建物解体工事	解体工事 一式	8,225,800円	2.8.7	2.10.5
"	旧豊宮崎文庫フェンス設置工事	生垣伐採後に景観を考慮しフェンスを設置	1,285,900	2.11.2	2.12.1
計	2件	-	9,511,700	-	-

(注) 営繕課施行

イ 普及関係

旧豊宮崎文庫と市天然記念物オヤネザクラの概要と文化財保護の大切さを知ってもらうために史跡見学会を令和3年3月27日に開催した。

名称	講師	開催場所	開催時間	参加者数
旧豊宮崎文庫史跡見学会	職員	旧豊宮崎文庫	10:00～12:00	51人

(8) 文化財案内板設置事業

市内の指定文化財や史跡等に対し、文化財案内板を設置することにより、その所在を明らかにし、来訪者への周知を図った。令和2年度は、新規案内板1件を設置し、既存案内板1件を建替えた。また、外国人観光客に対応するため、既設案内板12件分の読み取りQRコードステッカーの再貼付及び、新たに2件の英語訳を実施した。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
伊勢市中島1丁目地内ほか	史跡等案内板石標柱設置工事	文化財周知のための案内看板を設置	円 1,265,000	2.11.13	3.2.15

(9) 賓日館保存事業

賓日館は市が所管する文化財(国の重要文化財)であり、誘客施設としても活用されている。

ア 耐震診断・補強案策定事業

賓日館には、令和元年度に年間3万4037人の来館があった。しかし、大規模な地震に対する建物の耐震補強等が実施されていない。ついては、地震に対する安全性を確保するために耐震診断を行い、耐震補強を実施する必要がある。令和元年度から令和2年度にかけて行った。耐震診断・補強案策定にあたっては旧賓日館保存整備委員会を開催し、指導を受けながら実施した。

- ・実施期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日
- ・事業費 11,122,000円(国補助5,561,000円、県補助723,000円、市4,838,000円)
- ・事業内容 耐震診断、指導委員会の開催(令和2年9月14日、12月21日)

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町茶屋地内	(注) 重要文化財旧賓日館本館ほか2棟耐震診断・補強案策定業務委託	耐震診断・補強案策定業務一式	円 10,109,000 【契約額】 27,225,000 [令和元年度] 17,116,000 [令和2年度] 10,109,000	2.4.1	3.3.15
〃	旧賓日館庭園木塀現状調査・修理検討業務委託	現状調査・劣化状況調査・修理検討業務一式	528,000	2.10.21	3.3.26
〃	重要文化財旧賓日館本館ほか2棟耐震診断・補強案策定業務委託	耐震診断・補強案策定業務一式	880,000	2.11.2	3.3.15
計	3件	-	11,517,000	-	-

(注) 令和元年度・2年度継続費

ウ 工事関係

建物等の維持管理のために修繕工事等を施行した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町茶屋 地 内	旧賓日館庭園照明 設備修繕工事	庭園内照明の不良箇所の 修繕	539,000 <sup>円</sup>	2. 4.27	2. 5.25
"	賓日館大広間棟北 面屋根補修工事	雨漏り防止のための屋 根瓦の補修	468,600	2. 5.15	2. 6.10
"	賓日館大広間棟東 側千鳥屋根補修工 事	雨漏り防止のための千 鳥屋根の補修	475,200	2. 7. 3	2. 8. 8
"	賓日館電気設備修 理工事	コンセント配線や機器 などの劣化箇所の修理	440,000	2. 8. 7	2.10. 5
計	4件	-	1,922,800	-	-

エ 普及関係

賓日館の概要と文化財保護の大切さを知っていただくために講演会と見学会を令和3年3月20日に実施した。

講演会名	講 師	開 催 場 所	開 催 日	入場者数
二見浦と賓日館	菅原洋一氏 (三重大学名誉教授)	賓日館 大広間	3. 3.20	16人

4 郷土資料収蔵施設管理運営事業

郷土資料館は、建物の耐震強度不足と老朽化のため平成22年度末に閉館し、平成23年度に解体された。現在は郷土資料収蔵施設として松下倉庫と、平成29年度から旧沼木中学校校舎を活用し、より良い資料保存環境づくりに努めている。また外部への郷土資料の貸出しも実施している。

5 郷土資料室管理運営事業

現在、市で保管している資料の一部は小俣総合支所1階に設けた「郷土資料コーナー」で展示を行っている。また、三重県総合博物館において企画展と講演会を開催した。

ア 企画展

企 画 展 名	開 催 場 所	開 催 期 間	入場者数
第16回企画展 土器大解剖展2「経筒と瓦経」	郷土資料コーナー	2. 2. 3 ~ 2. 7.31	-
第17回企画展 「あきない! 昔の商売道具展」	郷土資料コーナー	2. 9. 1 ~ 2.12.25	-
「伊勢の造船400年史～旧市川造船 所資料展～」	三重県総合博物館	3. 1.26 ~ 3. 2.21	6,894人

イ 講演会

講演会名	講 師	開 催 場 所	開 催 日	入場者数
「木造船の百貨店」～ 市川造船所建造の多彩 な木造船について～	伊藤 政光氏 (鳥羽商船高等専門 学校名誉教授)	三重県総合博物館	3. 2. 6	午前:30人 午後:32人



## 6 古市資料館管理運営事業

古市参宮街道ゆかりの資料（妓楼・古市歌舞伎・岩城万金丹・画僧月僊関係等）を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成18年9月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

### 【指定管理者】

- ・管理者名 伊勢古市参宮街道資料館運営委員会
- ・指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

### （1）企画展の実施

企 画 展 名	開 催 期 間	入館者数
神都画人「伊勢の円山四条派・後篇」展	2.11.3 ~ 2.12.6	532人

### （2）入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	12	6	25	26	26	26	27	24	24	24	22	26	268
入館 者数	51	10	78	151	79	119	167	449	247	111	138	149	1,749

### （3）2階研修室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	11	0	34	35	27	40	46	35	38	27	20	42	355
利用 者数	54	0	302	265	193	281	355	268	288	201	123	342	2,672

### （4）工事関係

施設の安全な運営のため、諸設備の修繕工事等を施行した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
中之町地内	(注) 伊勢古市参宮街道 資料館空調設備改 修工事	空調設備改修 一式	円 3,421,700	2. 9. 4	2.11. 2

（注）営繕課施行

## 7 伊勢河崎商人館管理運営事業

江戸時代に「伊勢の台所」として栄えた河崎の代表的な商家を資料館として活用し、当時の暮らしを支えた商業や生活に関する資料を展示公開している。

なお、施設建造物のうち12件は、平成13年に国の登録有形文化財に登録されている。

平成18年9月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

### 【指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆

・指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

（1）入館者数

月別区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数	12	6	25	27	27	25	27	26	24	25	24	26	274
入館者数	80	16	189	280	343	320	699	644	276	265	202	317	3,631

（2）貸室利用回数・利用者数

月別区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	1	0	3	7	12	5	6	18	3	5	6	10	76
利用者数	4	0	25	45	114	30	46	107	41	51	50	78	591

（3）工事関係

施設の安全な運営のため、諸設備の修繕工事等を施行した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
河崎2丁目地内	(注) 伊勢河崎商人館角吾座ほか空調設備改修工事	空調設備改修 一式	円 5,287,700	2. 9. 4	2. 11. 17

（注）営繕課施行

8 尾崎号堂記念館管理運営事業

我が国の憲政史上に不滅の功績を残し、世界平和の取組に尽力した尾崎号堂に関する資料を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成22年4月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人号堂香風
- ・指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）

（1）企画展の実施

企画展名	開催期間	入館者数
企画展「尾崎行雄の声を聴こう～レコード盤から復活した肉声&蓄音機の仕組み～」	2. 8. 1 ~ 2. 8. 30	人 100
企画展「寄贈品展」	3. 3. 1 ~ 3. 3. 31	113

（2）入館者数

月別区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数	12	6	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	272
入館者数	24	1	42	29	100	46	73	41	55	32	17	113	573

(3) 2階会議室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	6	0	14	23	21	22	31	33	27	17	19	27	240
利用者数	66	0	123	220	234	172	357	361	238	147	130	218	2,266

9 山田奉行所記念館管理運営事業

江戸幕府が主要都市に設置した遠国奉行を今に伝える数少ない資料館として、山田奉行所に関する資料を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成27年4月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 山田奉行所記念館友の会
- ・指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）

(1) 企画展の実施

企 画 展 名	開 催 期 間	入館者数
写真展「15年のあゆみ」	2.11. 1～ 2.11.30	229人
特別展「宮川の水害と人々」	3. 2.25～ 3. 3.31	349

(2) 山田奉行所記念館開館15周年記念

開館15周年を記念し、昨年に引き続き「船下ろし式」を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止し、代わりに写真展を開催した。

(3) 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	12	6	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	273
入館 者数	65	10	103	115	101	91	113	229	91	87	140	315	1,460

(4) 貸室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	0	0	3	2	1	2	2	2	4	3	2	2	23
利用者数	0	0	24	7	6	7	6	5	40	25	12	6	138

(5) 工事関係

施設の安全な運営のため、諸設備の修繕工事等を施行した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
御薊町上條 地 内	山田奉行所記念館 東側板塀改修工事	板塀改修 一式	円 836,000	2. 8.12	2. 9.25

10 観光文化会館施設管理運営・補修事業

市民の様々な文化活動を支援するための施設として、ホールや会議室等の貸館のほか、質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供等の取組を行った。

平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

【指定管理者】

- ・管理者名 株式会社 ケイミックスパブリックビジネス
- ・指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

（1）自主事業

観光文化会館の設置目的を達成するため指定管理者自ら企画実施する自主事業（鑑賞型や参加型の公演事業）を計画したが、新型コロナウイルスの影響により大ホールを使用する事業を中心に多くの事業が中止となった。

区分	主な事業名	計画件数	実施件数	入場者数
鑑賞型事業	山崎まさよし YAMAZAKI MASAYOSHI CONCERT TOUR 2020 “Quarter Note”（中止）	11 件	0 件	- 人
普及型事業	レ・フレール Magical Piano in ISE	12	6	1,112
参加型事業	とこわか倶楽部2020 ～伊勢山田傘の魅力発見！ミニ和傘の絵付け体験講座～	7	3	124
計		30	9	1,236

（2）設備更新

施設の安全な運営のため、経年劣化している非常用放送設備を更新した。

品名	購入年月日	金額
ラック型非常用放送設備	3. 3.22	円 1,540,000

（3）ネーミングライツ

新たな財源を確保し、施設の運営及び維持管理等の財源に充てるため、ネーミングライツ制度を導入している。

- ・対象施設 伊勢市観光文化会館
- ・愛称 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢
- ・命名権者 シンフォニアテクノロジー株式会社
- ・命名権料 年額500万円（税込み）
- ・契約期間 平成29年4月1日～令和9年3月31日（10年間）

11 新型コロナウイルス対策事業

（1）感染防止対策事業

不特定多数が利用する文化施設において、新型コロナウイルス感染防止対策として次の環境整備を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
川端町地内	尾崎弔堂記念館網戸設置工事	網戸設置 19箇所	円 412,500	2.10.26	2.12. 4
河崎2丁目地内ほか	伊勢河崎商人館ほか水栓取替工事	伊勢河崎商人館及び山田奉行所記念館の水栓取替	291,500	2.11.12	2.11.24
計	2件	-	704,000	-	-

イ 備品関係

設置場所	品 名	金 額	購入年月日
伊勢古市参宮街道資料館	消毒液用オートディスペンサー	円 16,027	2.12. 9
伊勢河崎商人館	消毒液用オートディスペンサー	48,081	2.12. 9
	アクリルパーテーション	72,600	3. 2. 1
尾崎弔堂記念館	消毒液用オートディスペンサー	16,027	2.12. 9
山田奉行所記念館	消毒液用オートディスペンサー	16,027	2.12. 9
観光文化会館	消毒液用オートディスペンサー	48,081	2.12. 9
	サーモグラフィカメラ	301,290	3. 1.25
	アクリルパーテーション	112,200	3. 2. 1
計	8件	630,333	-

( 2 ) 指定管理運営維持負担金

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入が減少した指定管理者に対して、減収分の一部を補填した。

施設名	指定管理者名	負担額
伊勢古市参宮街道資料館	伊勢古市参宮街道資料館運営委員会	円 117,455
尾崎弔堂記念館	特定非営利活動法人 弔堂香風	408,669
観光文化会館	株式会社 ケイミックスパブリックビジネス	114,110,517
計	3件	114,636,641